

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	ビジネスサポーター制度事業		担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課		
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市ビジネスサポーター事業実施要綱		
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり	事業期間	開始	平成	21年度
政策(中項目)	1	活力都市なると			終期	未定
(小項目)		産業(①商工業・金融)				
施策	8	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	1	地場産業の育成・振興				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内に事業所を有する中小企業者及び市内で創業を予定している者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	中小企業等が抱える経営・製品・製造工程等に関する諸問題を解決し、本市の商工業の振興を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		派遣件数	40	40	15	15	15	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	広報での周知や市内金融機関へのPRパンフレットの配布を行なった。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 サポーター登録人員	5	3	5	5	5	人
	2 派遣希望社数	2	0	5	5	5	社
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	派遣件数	3	0	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		0.0	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	15	0	200	200	200	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	15	0	200	200		200
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		667	652	852	852	852	千円	

【事務事業名:ビジネスサポーター制度事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	「スーパービジネスサポーター派遣事業」がH23年度で終了するため、「なるとビジネスサポーター」制度の充実と活用の活性化を図るため、制度の見直しを行う。 従来の企業OBに加え、現役の方や公的資格を有する専門家を加える。また、1回あたり報酬が5,000円だったが、この金額では、なかなか依頼できる専門家などが少ないため、企業OBなど10,000円、公的資格を有する専門家15,000円とする。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	地域経済活性化を図る事業として必要だが、より事業所のニーズに応じた施策への見直しが必要。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 産業の振興と経営基盤の充実強化 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	事業所のニーズに応じた内容への見直しが必要。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	手法の見直しをし、ニーズがあれば事業を拡大していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	利用件数が少ない理由の一つは、事業所のニーズに応じた事業でないことがあげられる。また、短期的なサポートではなく、長期的なスパンでサポートできる事業としなければならない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 ▼ 9月 ▼			
	どのように改革するのか	事業所のニーズに応じた事業としなければならない。そのため、24年度に実施するエコミックガーデニング実施のための事業所ニーズ調査の結果を踏まえ事業の見直しをする。			